



THE PRESS ザ・プレス 国際高

速報第18号
発行
富山国際大学附属高校 新聞部
富山市願海寺444
E-mail:
press@tuins-h.ed.jp

インターハイ
飛び込み

坂田さん 2種目で表彰台

中田・大上さんも競泳で入賞

全国高校総体（インターハイ）の水泳競技は8月20日、長野市アクアウイングで行われ、男子高飛び込みの決勝で坂田麗鳳^{れお}さん（35H）が501・60点をマークして準優勝した。坂田さんは18日の板飛び込みでも3位に入っており、2種目での表彰台となった。また、競泳でも中田秀次郎さん（19H）が4位、大上詩央里さん（13H）が8位に入賞した。



インターハイの男子高飛び込みで準優勝し、メダルを手に微笑む坂田さん。長野市アクアウイング

坂田さんは、上位3、4人の優勝争いに加わり、緊張が張り詰める状況の中、大柄な体格から繰り出すダイナミックな演技で高得点を叩き出した。飛び込み競技の学校総合得点でも3位に入賞し、3年生としてのインターハイを有終の美で飾った。

坂田さんは「2年ぶりの全国大会でメダルもとったことがなかった。優勝できるように練習を頑張った。予選は6本、決勝は11本飛び込みで1日で計3時間ほどの長い試合になるため、体力づくりが年下のライバルというプレッシャーもあったが、初めてメダルを2個もとれ、優勝ではないが結果には満足している」と話した。

また、競泳では2人の1年生選手が活躍。

100m平泳ぎに出場した中田さんは僅差で4位、大上さんは100mバタフライで8位だった。

7月の北信越大会で100m平泳ぎ大会新記録をマークした中田さんは「久しぶりの全国大会でワクワクした。そのせいか前半から攻め過ぎて後半に失速してしまった。今後は冷静なレース展開ができるように、普段から冷静に行動することを心がけたい」と振り返った。大上さんは「インターハイが行われたことに感謝の気持ちでいっぱい。目標は決勝に残ることだったので、達成できてうれしい。来年は表彰台に乗りたいため、練習を頑張ります」と話した。



入賞した中田さん（左）と大上さん